

令和6年度春日部市立春日部中学校の教育

1 学校経営方針及び教育目標

- | |
|--|
| ○生徒に力をつける教育（生徒のよさや可能性を伸ばし、生徒に力をつける教育を行う）・・・目指す責務 |
| ○安全・安心な環境（安全を確保し、安心して生活できる環境を整える）・・・当然の責務 |

2 目指す学校像

「信頼が育まれ活力がみなぎり、生徒がいきいきと活動する学校」

【信頼される学校】とは

- ・生徒一人一人が生き生きと自己実現を図り、職員個々はその職責を自覚して厳しく磨き合う学校
- ・施設設備が充実し、花と緑に囲まれた心安らぐ学校
- ・保護者や地域社会の声に耳を傾けて共に活動し、保護者や地域の人々が誇りに感じる学校

【活力ある学校】とは

- ・社会の動きを受け止め、常に変化し進歩発展する学校
- ・生徒がその可能性を見出して挑戦し、生き生きと活動する学校
- ・職員が常に子どもとともにあり、職員の意欲、保護者の応援、地域の教育力あふれる学校

3 目指す生徒像

「失敗を恐れず挑戦し、目標達成のために粘り強く努力できる生徒」

春中生の合い言葉

「一生懸命がかっこいい」

4 学校教育目標

「可能性に生きる」

- ・豊かな知性
- ・あふれる情熱
- ・熱い友情

5 経営方針

①常態のレベルアップを図り、「継承」と「創造」を推進する。

- ・長い歴史と伝統の中で着実に積み上げられた成果や財産を継承し、一層の充実を図る。(継承)
- ・成果や財産を糧に創意工夫を重ね、日々の教育活動のレベルアップと活力ある学校づくりを進める。(創造)

②「自立」と「連携」で校力を高める。

- ・学校という組織を構成する職員個々は重要な役割を持つ。その分掌は責任を持って確実に遂行する。(自立)
- ・情報や取組を学年や部会等で共有し、さらに創意工夫を加えてより充実した取組に向上させるなど、組織を機能させて校力を高める。(連携)

③「教師力」を高め、地域の負託に応える。

- ・総合的な人間力を伸ばし、質の高い教育活動を行うことが、職員に強く求められている。専門職としての実践的な指導力や職務遂行能力を身につけることによって、保護者や地域の負託に応える。(教師力)
- ・経験を力に変え、個々の持ち味を生かした教育を実践する。また、学校経営への積極的な参画を促す。(同)

6 経営方針実現の具体的な手立て

①魅力ある学校づくりの推進

ア. 人間尊重を基盤とした教育指導の推進

- ・一人一人の生徒を大切にした指導、生徒の主体性を尊重する「気づき 考え 実行する」(JRC)の推進
- ・豊かな心と健やかな体の育成
- ・善行を褒め、各種表彰で周知(「金山賞」の奨励、表彰内容の表示)

イ. 基礎基本の定着と学力の向上

- ・「常に学ぶ者のみが教えられる」という基本姿勢
- ・「聞く、考える、話す」力の育成から、「主体的に学ぶ」授業の実現
- ・キャリア教育、道徳教育、教科指導の充実と家庭学習の推進(生活記録ノートの活用)

ウ. いじめや不登校生徒の解消

- ・人権を尊重する教育を推進するため、人権標語の作成と掲示
- ・課題を抱えた生徒、欠席した生徒の保護者への電話連絡等による連携の確保
- ・さわやか相談室や関係機関等との速やかで確実な連携(さわやか相談員との連携)

- エ. 本校が伝統とする教育活動の充実と発展
 - ・合唱指導の充実「歌声の響く学校」
 - ・伝統を引き継ぐ教育「春中に残す3箇条」
 - ・国際性をはぐくむ教育「オーストラリア姉妹校交流」
- オ. 健康・安全への配慮
 - ・健康の保持と増進の取組を推進。ウィズコロナを見越した感染対策の実施
 - ・登下校時の交通安全、交通ルールの遵守の指導。自転車乗車時のヘルメット着用の推奨
 - ・災害発生時の基本行動の確認と徹底、「自分の身は自分で守る」ことのできる資質の育成

②連携と協調のある指導体制の確立

- ア. 生徒指導における凡事徹底
 - ・生徒指導機能「自己存在感」「自己決定の場」「共感的人間関係」の効果的な活用
 - ・教職員間で情報を共有することにより、事故発生を未然に防ぐ指導の工夫
 - ・授業規律の徹底、時間の厳守、あいさつの徹底、迅速かつ組織的な対応の維持
- イ. 「生徒の学ぶ場」として好ましい教育環境の創出（清掃、掲示、言語等）
 - ・「環境が人をつくる」その環境をつくるのは、生徒と教職員。修繕による環境改善と「春日部中ナイスショット」の掲示
 - ・教職員の言語環境の整備のための「意欲の湧くことば」の活用
 - ・教室や廊下、体育館、グラウンド等での安心で安全な教育環境の維持・管理
- ウ. 良好な人間関係の構築
 - ・生徒との日頃からの望ましい人間関係づくり、しかることよりも褒めることを意識した指導
 - ・同僚、保護者、地域の方々との良好な人間関係の構築、コミュニティースクールの導入
 - ・困ったときの助け合い。教職員間でのコミュニケーションの重視。働き方改革の推進

③保護者や地域との絆を深め、信頼される学校づくりの推進

- ア. 情報発信をいかした学校理解の推進
 - ・学校だよりやHP等を活用した地域への情報発信
 - ・学校評価を有効に活用した、教育活動の改善と充実
- イ. 学校支援体制の構築と活用
 - ・中学校区における小中間の連携を密にした魅力ある教育活動の工夫・実施
 - ・「春日部中学校区青少年を育てる会」を軸とした青少年の健全育成
 - ・部活動や体験活動を推進することによる保護者や地域の教育力の効果的な活用
- ウ. 学校・家庭・地域の積極的な連携と協力
 - ・家庭教育は全ての教育の出発点として、各家庭において行うこと

- ・いつも家族で「おはよう」「ただいま」「おやすみ」などのあいさつをする。
- ・学校での出来事について子どもと話す。
- ・家族みんなで毎日朝食を食べる。
- ・親子で話し合っ、テレビ、ゲーム、スマホの時間などルールを決める。
- ・早寝早起きを心がける。
- ・お手伝いの習慣をつける。

7 今年度の重点

- (1) **学力向上** 授業や家庭学習における ICT の効果的な活用
- (2) **健全で豊かな心の育成** さわやかなあいさつ、主体的な清掃活動、生徒のよさを認めて伸ばす指導
- (3) **不登校生徒の解消** 組織で進める生徒理解と対応、保護者やさわやか相談室、関係機関との連携
- (4) **安全・防災教育の推進** 地域ぐるみでの防災意識向上の取組、「自分の身は自分で守る」意識の育成、交通ルールの遵守、自転車乗車時はヘルメットの着用を推奨
- (5) **教職員の働き方改革の推進** ふれあいデーの活用、行事内容の見直し、休暇を取得しやすい職場環境の整備、活動時間の短縮・数の縮減など部活動の見直し、ICTの活用による事務の効率化等 業務改善検討委員会での意見を尊重・実施
- (6) **教職員事故ゼロの徹底** 生徒・保護者・地域の皆さんの期待に応え、学校との間に信頼関係の構築、なくなならない不祥事を自分事として捉え、自分が起こさない意識の醸成、挨拶やコミュニケーションを心掛け、より良い関係から風通しの良い環境づくり、職員のメンタルヘルス対策を推進し、悩みやストレスの軽減、倫理確立委員会を中心とした職員への啓発・注意喚起

8 学年目標

- 第1学年 「善進～Challenge～」 気付き・考え・行動する集団
- 第2学年 「フワード」～何事にも将来に向かって前進～
- 第3学年 「受け継いだものを伝統に、“真価”を問われる3年生」～屋根づくりの1年間～